

工学部 電子情報通信工学科

【教育目標】

電子情報通信工学科では、教育研究上の目的を達成するため、以下の3点を教育目標とします。

- ①電気電子工学および情報通信工学分野の学習を通じて、電気電子工学分野と情報通信工学分野の技術者としての役割を理解し、それぞれの専門分野の問題解決に対応できる技術者の育成
- ②それぞれの専門分野において豊かな創造力と実学的知識を有し、自ら積極的に問題の発見、課題の提起ができる技術者の育成
- ③論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など技術者として必要な能力を有する人材の育成

【ディプロマ・ポリシー】

電子情報通信工学科は、基礎学力および電気電子工学および情報通信工学分野における以下の幅広い知識・技術を修得し、変化する社会ニーズに対応できる能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。

- (1) 電気電子工学分野と情報通信工学分野の技術者としての役割を理解し、社会に貢献できる能力を持っている。
- (2) 数学、物理学、化学、情報などの工学的基礎知識を修得している。
- (3) 電気工学、電子工学、情報工学などの専門分野における内容を理解している。
- (4) 電気電子工学分野に関する電力・エネルギー、計測・制御、物性・電磁波などの知識を修得している。
- (5) 情報通信工学分野に関する情報の活用や情報通信・ネットワークに関わる知識を修得している。
- (6) 実験・実習を通して、電気電子工学分野・情報通信工学分野の実学的な知識を習得している。
- (7) 論理的思考力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など技術者として必要な能力を身につけている。

【カリキュラム・ポリシー】

電子情報通信工学科では、学科科目を共通科目群、電気電子工学科目群、電子情報工学科目群、専門総合科目群と分類し、電気電子情報工学分野の基礎から応用まで幅広く学習するカリキュラム体制としています。

1年次では、人文科学・社会科学などの教養科目のほか、言語文化科目さらに、工学分野の基礎として数学、物理学、化学を配置しています。また、学科の教育内容を概観する科目として電気電子情報工学入門、電気電子情報工学分野の導入科目として回路の基礎を配置しています。

2年次には、電気電子情報工学分野の中心基礎科目として電気回路、電磁気学、計算機工学を配置しています。また電気電子工学コースと電子情報工学コースの2つのコースを設置し、中心基礎科目からそれぞれの専門応用科目へつなげるための専門基礎科目を配置しています。

3年次からは、電力・エネルギー、計測・制御、物性・電磁波や情報通信・ネットワークの各分野に体系的に学べるように専門応用科目群を配置しています。電気電子工学科目群あるいは電子情報工学科目群の科目を選択して履修するようになっています。また、電気電子情報工学ゼミナールを配置して卒業研究の準備としています。

また、専門総合科目群として1年次から3年次にかけて、実験・演習科目を配置しています。これらの科目で測定装置の使い方やデータの収集法を身につけ、基礎実験から応用的な実験まで幅広く取り組みます。さらに、レポート作成を通し、論理的な思考力、文章の作成方法を学習します。

4年次では、卒業研究を実施し、これまでに修得した内容をもとに研究課題の調査・設定を行い、具体的に設定した研究課題に対する答えを自ら模索し探究する課程を通して、継続的に問題を解決できる技術者の育成を目指しています。

【アドミッション・ポリシー】

電子情報通信工学科は、電気電子工学分野と情報通信工学分野の基本をしっかりと身につけた「電気電子工学」と「情報通信工学」分野の技術者の育成を行い、現代社会を支える科学技術をリードする電気電子および情報通信工学のエキスパートの育成を目指しています。そのため、以下のような学生を求めます。

(求める学生像)

- (1) 工学の基礎となる数学、理科の素養を有している人。
- (2) 電気回路や電子回路に興味がある人。
- (3) 電力・エネルギー分野について興味のある人
- (4) コンピュータや情報について興味がある人。
- (5) 新しいものやシステムを作りたいと考えている人。
- (6) 社会に役立つ技術者になりたいと考えている人。

(高校までに習得すべき学力水準)

電子情報通信工学科への入学時には、以下の内容を理解していることを望みます。工学の基礎科目として、高校までの数学、物理、化学の基本的内容が必要です。レポート作成のためには、内容を的確に表現し説明するための文章力や読解力が必要です。さらに、技術文書を読むために英語の基礎的語彙、文法知識なども必要となります。

入学者選抜においては、下記に示すように志願者の基礎学力の他、長所や将来への可能性を含めて厳正に実施します。

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型 選抜		学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜			
	A O	ク ラ ブ	指 定 校 推 薦	特 別 推 薦 (系 列 校)	公 募 推 薦	一 般 ※ 1	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 利 用 ・ プ ラ ス 方 式	特 別 等 ※ 2	社 会 人、 資 格 取 得 者	留 学 生 ※ 3	編 入 学
(1)	○	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	○
(2)	◎*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	◎*	◎*
(3)	◎*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	◎*	◎*
(4)	◎*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	◎*	◎*
(5)	○							◎**			○**
(6)								◎**			○**

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力利用入試があります。

※4 (2)(3)(4)の*は、一つ以上に○または◎があることが必要です。

※5 (5)(6)の**は、一つ以上に○または◎があることが必要です。ただし、◎は社会人のみに適用します。

改 正 2021年3月24日